

【2023年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等		
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		選択	2	4	前期		
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー			
増田 洋介	B310	yosuke.masuda		水曜日 12:10~13:00			
授業の目的・概要	<目的>精神保健福祉士の役割を理解するとともに、専門職養成における実習の意義・目的を理解する。併せて実習計画書を完成させ、実習先への事前訪問を実施し、実習の準備を整えることを目的とする。 <概要>講義では、実習に必要な情報（地域特性、制度等）を調べ、整理する課題を課す。整理ができたところで、実習生及び実習機関に合った実習計画書の作成及び実習記録の演習を実施する。						
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート		
学習上の助言	精神保健医療福祉の現状の理解のため、ニュースや時事問題に关心を向けること。また、実習地域及び実習機関を理解した上で実習に臨むことが望ましいため、予習・復習を確実に行なうことが求められる。						
教科書	新・精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習/編:日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版						
参考書	学外実習の手引き/編:健康科学大学健康科学部福祉心理学科						
外部教材	特になし						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針			
①	精神保健福祉援助実習に臨むにあたり、自分自身の課題が整理できる。			HSU(1)、(6)、WP(4)			
②	精神保健福祉援助実習の意義について理解ができる。			HSU(2)、WP(5)			
③	実習計画書を作成することができる。			HSU(2)、WP(5)			
④	他者に伝わる実習記録の書き方が理解できる。			HSU(5)、WP(2)、(5)			
⑤							
⑥							
授業計画							
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)				
1	オリエンテーション（授業概要、学習方法の理解）	講義	精神保健福祉援助実習指導Ⅰの振り返りを行う。				
2	精神保健医療福祉の現状や実習機関を理解する①	講義	教科書を読む。最近のニュース等を調べる。				
3	精神保健医療福祉の現状や実習機関を理解する②	講義	教科書を読む。最近のニュース等を調べる。				
4	実習先地域について理解する。	講義	教科書を読む。地域について事前に調べる。				
5	実習計画の意義や書き方について理解する。	講義	教科書を読む。				
6	実習計画書の作成（医療機関）①	講義	教科書を読む。課題プリントの復習をする。				
7	実習計画書の作成（医療機関）②	講義	教科書を読む。課題プリントの復習をする。				
8	実習計画書の作成（医療機関）③	講義	教科書を読む。課題プリントの復習をする。				
9	実習計画書の作成（障害福祉施設・行政機関等）①	講義	教科書を読む。課題プリントの復習をする。				
10	実習計画書の作成（障害福祉施設・行政機関等）②	講義	教科書を読む。課題プリントの復習をする。				
11	実習計画書の作成（障害福祉施設・行政機関等）③	講義	教科書を読む。課題プリントの復習をする。				
12	実習記録の書き方を学ぶ①	講義・演習	教科書を読む。				
13	実習記録の書き方を学ぶ②	講義・演習	教科書を読む。				
14	実習巡回指導①「実習計画書」「自己評価表」「実習日誌」をもとに、実習体験についてスーパービジョンを行う。	指導	「自己評価表」に実習の達成度を記入する。				
15	実習巡回指導②「実習計画書」「自己評価表」「実習日誌」をもとに、実習体験についてスーパービジョンを行う。	指導	「自己評価表」に実習の達成度を記入する。				
試							

【2023年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価											
総合評価割合 (%)	試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計					
	0	30	0	0	70	100					
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	10	20					
	思考・推論・創造する力	0	10	0	10	20					
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	5	5					
	発表・表現伝達する力	0	0	0	10	10					
	コミュニケーション力	0	0	0	10	10					
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	20	30					
	問題を発見・解決する力	0	0	0	5	5					
評価のポイント					フィードバックの方法						
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点									
試験	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
レポート	① ✓	精神保健福祉援助実習に向けた実習計画書を完成させること。実習機関に合った実習計画となっているか、また体裁は整っているか等を評価する。			授業内及び必要な場合は授業外に適宜、個別指導を実施する。						
	② ✓										
	③ ✓										
	④										
	⑤										
	⑥										
成果発表	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
ポートフォリオ	①										
	②										
	③										
	④										
	⑤										
	⑥										
その他	① ✓	実習準備における取り組み姿勢、授業態度、「実習施設情報」の作成状況などについて総合的に評価する。			個別にフィードバックを行う。						
	② ✓										
	③ ✓										
	④ ✓										
	⑤										
	⑥										
備 考											
他 担 当 教 員	なし										
教員の実務経験											
実践的授業の内容	教員自身の対人援助職の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。										
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。ただし、精神保健福祉援助実習指導Ⅰの単位を取得していないければ本科目は履修できない。 学外実習に向けた科目であるため、原則として遅刻・欠席は認めない。やむを得ず遅刻・欠席をする場合には、所定の手続きを踏んで対応すること。 受講の際には、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 今後の新型コロナウィルス感染症の社会情勢によって、シラバスの変更が行われる可能性がある。 										